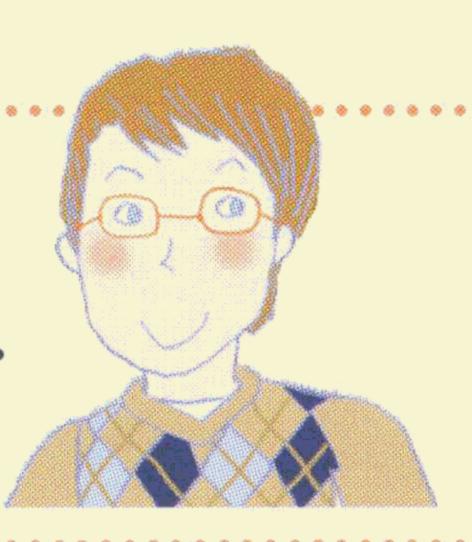
開発の第32クロアへ 期間等の第

○ほぼるスクエア(呆護者

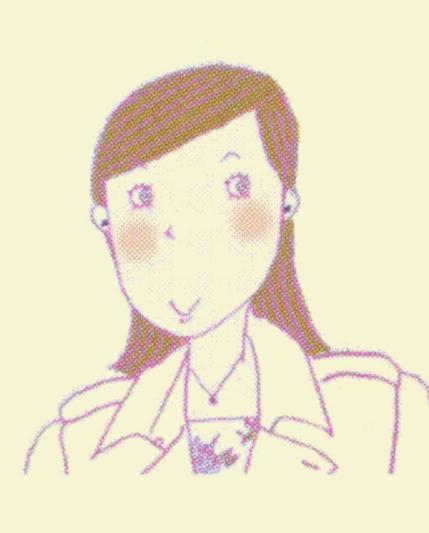
従来の作業所になかった「学ぶ」ことを柱とした考え方に共感しています。体験会に参加した本人が「ここがいい。」と思ったことが何より大きな決め手で、自分の意思を大切に未来をひらいていって欲しいです。目の前にいるありのままの青年たちの姿が出発点。ゆっくり成長してほしいと願っています。

○ほぼろスクエア体験会参加者

「ここやったら、明るくいれる、元気が出てくる・・・ ここやったらやっていけると思った。」



○大阪発達支援センター ほぽろ ヤングクラス (青年教室) 同窓生



作業所に行って、何か違う、こんなんでいいのかな?とすっきりしなかったのは、もっと勉強して、いろいろ知りたいことがいっぱいある、もっと自分を好きになりたい、自分のことは自分で考えたい、そんな気持ちがあったからだろうなと、

最近になって気づきました。私はヤンクラに出会えてよかったです。高等部を卒業しても、専攻科やヤンクラ・ぽぽスクのような 勉強できる場所があちこちにできればいいなと思います。

〇支援学校の(呆護者

青年期には仲間の中で友情を育みながら、いろいるとなるとを経験していくことが大切だと思います。この時期にふさわしい教育の場が本当に必要



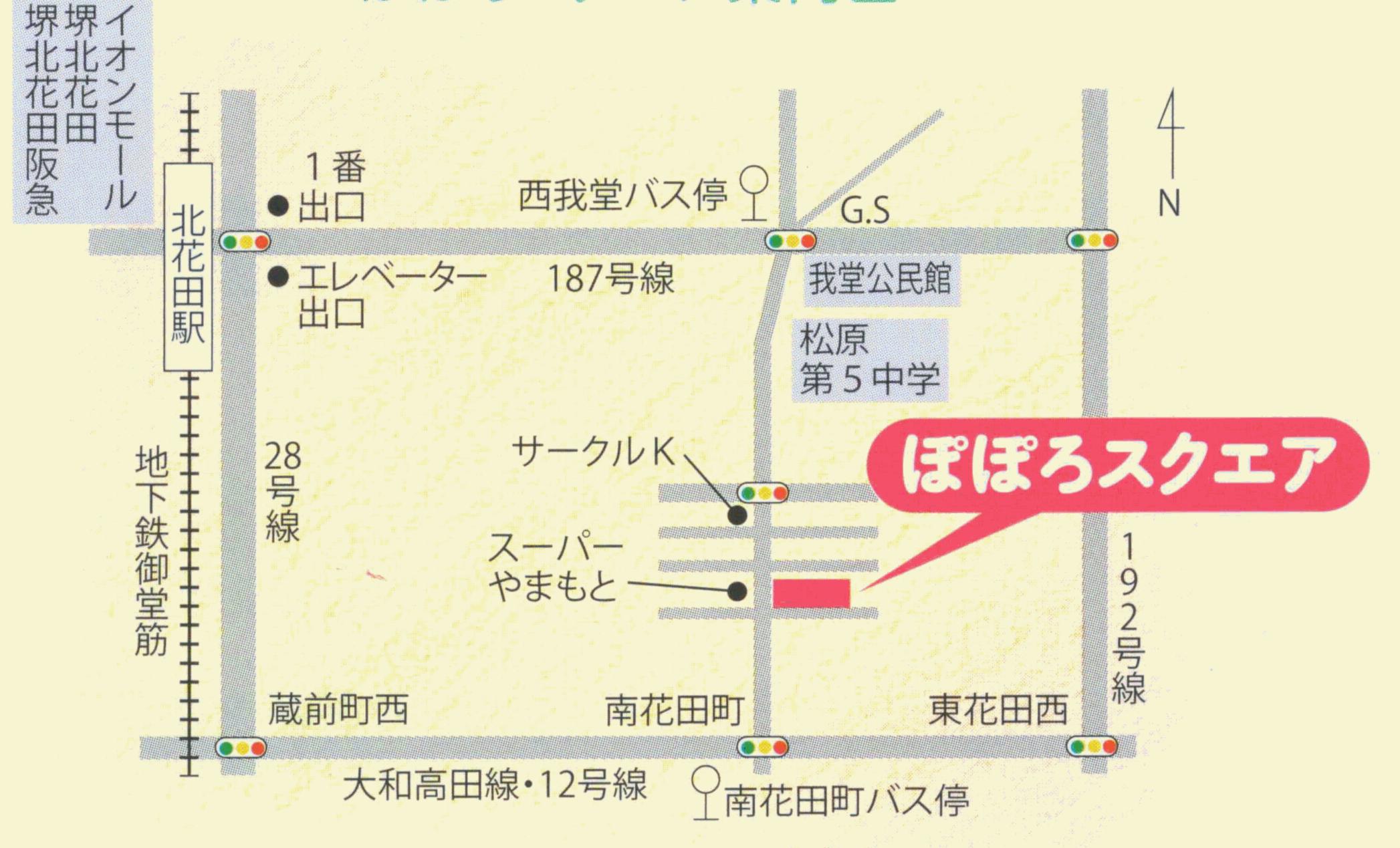
だと思います。その先駆けとして「ぽぽろスクエア」ができることを本当にうれしく思います。これをきっかけに「障害児が学べる高等部卒業後の教育の場」が大阪府内全域に広がり、希望する障害児全員がそこで学べる環境を作っていけるよう保護者のひとりとして頑張っていきたいと思います。





農作業収穫が楽しみです

(武(武) 3 7 7 五 7 案内以



交通機

地下鉄 地下鉄御堂筋線「北花田駅」下車1番出口 徒歩約15分 バス 南海バス布忍線「南花田町」・河内天美線「西我堂」バス停から

徒歩約5分 2012.7.25

The state of the s

ほぽろスクエア

〒580-0026 松原市天美我堂2丁目339-1 tel 072-349-3958 fax 072-349-3959 メール: poposuku@iaa.itkeeper.ne.jp

卒業後の「障がい青年の学びの場」 は第1377年ア

自立訓練事業 (生活訓練)



みんなでジャンプ!

こんな人を得うではまし

- *自分らしさ、をみつけ、 もっと自分に自信をつけてから、社会に出たい。
- ●もっといろいろなことにチャレンジしてみたい。
- 社会生活のしかたを学び、くらしを豊かにする力をつけたい。
- ●いろいろな体験をして、自分に合った仕事を自分で見つけたい。
- 人とのかかわりを広げ、余暇の時間が上手に使えるようになりたい。
- ●興味のあることを自分で調べ、 それをまとめ、発表をしてみたい。

(運営主体) 特定非営利活動法人 大阪障害者センター

広げよう、卒業後の学びの場を大阪にも!

障がいのある子どもたちは、一つのことを習得するのにとっても時間がかかります。それなのに学校で学べるのは18歳まで。現在、支援学校高等部卒業後の一般的な進路は、一般就労か作業所に行くかです。そうではなく、仲間がいて、わいわい一緒に学ぶことができる、生活体験をよりゆたかに積み、ゆっくりと自分発見をする、楽しく青春する時間がある、そんな「学びの場」が、ぽぽろスクエア、です。

将来、支援学校高等部の上に、教育の場として、専攻科が実現することも大きな願いです。

ぼぼるスクエアの利用案内

●事業内容:自立訓練事業(生活訓練)

0定 員:20名

●対 象:知的障がい

精神障がい(発達障がいを含む)

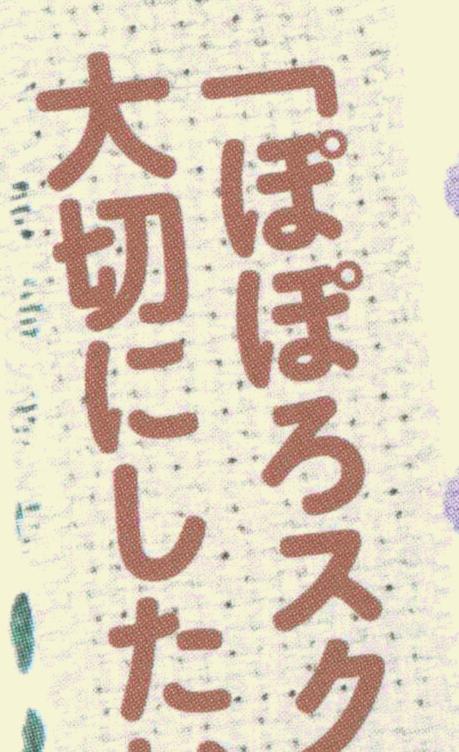
●利用期間:2年間

●利用料:法律に準じる (本人非課税·生活保護は無料)

●実費負担あり (教材費、宿泊、社会見学等)

●希望者には近隣作業所の配食あり (実費負担)



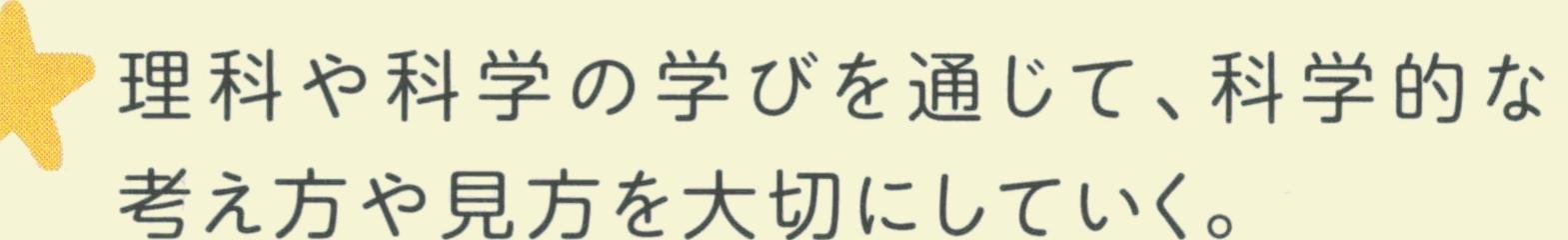


- ・ゆったりとした環境のなかで "楽しい"を第一にする。
- 楽しみや悲しみを共にし、 人とつながる。
- 自分さがし、 自分づくりを経て、 新しい自分を築く。





【性教育を通じて、自尊感情を高め、自分が大切な存在であること、自分以外の人も大切な存在であることを知る。



大阪発達支援センターぽぽろが 行なっているヤングクラスの青年 たちなどとのつながりを大切にして、人間関係を広げていく。



	F						a		#1·3 <u>+</u>
9:30~10:00	朝のミーティング								
10:00~11:45	生活一週間の計画	経済くらし		第1・4	第1・2	第3・4 生活	自主ぜミ		特別活動
		パンコン	第2・3						
11:45~13:15	昼食・休憩		調	*	昼食・休憩				
13:15~15:00	経済ものづくり	特別活動表現	調理実習	祖母			第1・3スポーツ	第2・4 ダンス	余暇活動・ ヤングクラス
					農作業		生活一週間のふりかえり		(サークル活動)
15:00~15:30	終わりのミーティング・掃除								

自己表現の力を高める

いろいろな場を利用して表現し、充実感や達成感を得る。話す・書く・音楽・絵・ダンス・書道・劇等

生活する力をつける

衣食住及びコミュニケーション等の基本的な力を身につける。

料理・洗濯・掃除・健康管理・計算・買い物・税金等

自分で考え、自分で決める

日常の生活や身近な体験を通して、主体的に学ぶ。

行事の企画・運営・反省をし、次の行事に生かす。 "失敗"をおそれず、次の経験に生かす。

自分を知る

自己肯定感を高め、相談する力を養う。

障がい・性・からだ・成長・得意なこと等

倉房らしく生きる進路を考える

仕事・障害者手帳・基礎年金・福祉の制度・各種手続き等

金銀活動を豊かにする

スポーツ・旅行・趣味のサークル・野菜作り・ものづくり等



2007の畑。みんなで農作業も栄しのない。